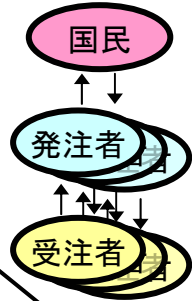


建設ICT導入研究会の全体状況

目的

建設事業の調査・計画・設計・施工・維持管理の一連の過程において、ICTの活用を通じ、事業の効率化又は効果向上を図り、受発注者及び関係者を含めた事業全体の生産性向上を目指す。



建設生産仕組み改革 [ICT活用×仕事改善]

設計技術 3D-CAD等
(設計の最適化・効率化)

情報共有技術 ASP,携帯等
(情報の一元管理による有効活用)

維持管理システム
(維持管理の適正化)

測量技術 TS,GNSS等
(測量の効率化・精度向上)

情報化施工技術 3D-MC等
(施工効率化・高品質・安全性向上)

検査技術 ICタグ等
(検査の適正化)

◎仕事改善:三者会議、ワンデーレスポンス、PM、PT、発注者評価 等



行動

建設ICTモデル事業

(現場・地元企業へのICT浸透)

- 施工モデル(37件中31件契約済み)
- 設計モデル(5件実施予定)
- 一元化モデル(今後実施予定)

連携

建設ICT導入研究会

(一般公募、ICTの集結、産学官連携)

- 会員:292者(プロジェクト会員73、一般219)
- 技術普及・現場支援・技術研究
- PT(技術普及・監督検査見直し,検証等)

年度	2008	2009	2010	2011
モデル事業	施工モデル準備開始	7月施工モデル現場開始 37モデル事業実施 検証開始	設計モデル開始 →施工モデル 検証分析	本格導入と継続検証との仕分け
研究会	11月研究会設立	プロジェクトチーム設置 ・技術普及 ・現場支援 ・技術研究各種	・効果等検証 ・監督検査見直し ・情報共有効果 ・情報有効活用	・要領改訂提言 ・業務改善